

ヨコハマ市民まち普請事業

第1次提案書

注1) 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。

注2) 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3) 添付資料は位置図、現況写真、活用イメージ図、その他資料、各A4版1ページ、余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	「結（ゆい）」つるみ実行委員会
現在の主な活動 内容・活動実績	<p>本提案に際して結成しました。横浜鶴見沖縄県人会役員、地元商店街役員、地元自治会役員を構成員とします。</p> <p>【それぞれの団体の活動状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜鶴見沖縄県人会：鶴見ウチナー祭、エイサー、沖縄角力、納涼祭 ・地元商店街：仲通マルシェ、防犯・防災活動 ・地元自治会：納涼祭、もちつき大会
提案場所	鶴見区仲通3丁目
提案名 (25字以内)	イノベーションHub「つるみ ゆいまーる」の創出
提案する施設（ど のような施設の提 案ですか）	<p>現在、鶴見沖縄県人会会館の1階部分には沖縄料理店、おきなわ物産センターが入り、2階部分は住居、3階部分は多国籍の様々な団体が活動するホールとなっています。1階部分の空き店舗（3区画、42m²）を改装し、恒常的に人々が【集い・つながり】、さらには「鶴見沖縄×南米タウン」の観光プロモーションの起点として地域外に【発信】できるような、地域内外に「結」を生み出すスペースとして整備したいと考えます。さらには、会館1階部分入口から3区画へと続く通路も沖縄らしさを出すため、提案施設とトーンを合わせて整備したいと考えます。</p> <p>【「つるみ ゆいまーる」の3つの具体的な基地機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■体験基地：沖縄芸能又は南米文化の体験コーナー ■作戦基地：新しいイベント企画・団体マッチング等のための集会所 ■情報発信基地：本地域の紹介及び地域で活動する各団体の活動紹介 <p style="text-align: right;">整備費用の概算額：約500万円</p>
活用イメージ（提 案する施設でどの ようなことを行い ますか）	<p>【集い・つながり】@体験基地、作戦基地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲通3丁目及びその周辺地域の方々が講師として運営する教室（沖縄三線、エイサー、沖縄角力、外国語、多文化共生理解）、マルシェ など ・「イベントを企画する個人、団体」と「協働参画を考える個人、団体」間のマッチング など <p>【発信（PR）する】@情報発信基地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体の活動紹介パネル、地域を紹介する動画（映画）、冊子等の常設展示、街巡りワークショップ など
提案の背景（なぜ 提案をするのか、 地域のニーズや課 題、生かしたい地 域の魅力等に触れ て説明してくださ い）	<p>仲通3丁目及びその周辺には、戦前から京浜工業地帯で働くために沖縄の人々が多く在住し、沖縄から南米にわたった日系2・3世も鶴見の沖縄出身者を頼り移住してきました。その特色を生かし、沖縄角力・ウチナー祭の開催や市民映画の製作など、地域が活発に活動していますが、横浜鶴見沖縄県人会、地元商店街、地元自治会等、それぞれの団体が独立して活動をしており、互いに連携して活動することがありませんでした。</p> <p>そこでまずは、当該拠点を整備することで、地域の人々が集い・つながり、既存事業の拡充や新規事業の創出を促します。さらには、当該場所を拠点とし</p>

	<p>て、鶴見における沖縄×南米タウンの観光PRも行い、地域外からの観光客等の交流人口を増やします。</p> <p>その後、地域外から来た観光客等がこの拠点を通じて、地域を知るのみならず、地域活動にも入り込んでいくことで、地域内外で様々な「結（ゆい）」が生まれ、相互作用することでさらに本地域の魅力を高め、発信していきたいと考えています。</p>
<p>目指す地域の将来像（提案を実現することで、どのような地域にしたいと考えますか）</p>	<p>沖縄出身者及び沖縄出身の南米日系の方が戦前から暮らす仲通3丁目及びその周辺には、沖縄の伝統・文化が今でも残っており、そこには「ゆいまーる（結い・廻る）」の精神があります。</p> <p>本拠点はまさにゆいまーるを実践する場です。まち普請事業をきっかけに横浜鶴見沖縄県人会、地元商店街、地元自治会、多国籍の住民等が集い・つながることで、地域の結びつきが強化されるのみならず、地域主体の様々な取組が加速度的に進み、新規事業等の創出も期待されます。</p> <p>さらに、本地域は2022年度前期 NHK連続テレビ小説「ちむどんどん」の舞台の一つとなります。その効果で、全国的に注目され、観光客等が増えることが予想されます。</p> <p>そこで、観光客等が「ゆいまーる」を体現したこの拠点を訪れ、地域一丸となって展開する様子に触れることで、当該地域の魅力を感じ「何度も来たい。この地域をもっとよくするために地域活動等にも入り込んでいきたい。」と思うような地域にしたいと考えます。</p>
<p>整備時の協働（つくるときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜鶴見沖縄県人会から資金的な支援を受けることができる可能性があります。 ・必要があればクラウドファンディングで施設の周知や資金確保に努めます。 ・鶴見区で多文化多世代の共創拠点づくりを既に行っているつみれカフェ（平成30年度 まち普請）から人と人の出会いや、つながりづくり等に関するノウハウ提供を受けます。 ・地元住民等と一緒に壁や通路等デザインを検討します。
<p>運営時の協働（運営するときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜鶴見沖縄県人会、地元商店街、地元自治会と連携し、講座やワークショップ等を行います。 ・南米コミュニティと連携し、南米の方に文化や慣習の違いを講座等で発信してもらい、多文化共生の観点から日本社会との融和を促進できるような取組をします。 ・つみれカフェと連携し、相互紹介等をし合うことで、たくさんの人を呼び込めるようにします。
<p>その他提案について特にPRしたい点を記入してください。</p>	<p>本提案は、仲通3丁目周辺で活動している横浜鶴見沖縄県人会、地元商店街、地元自治会等を結び付け、「活気のある、住んで楽しい街」を作る為の拠点創出を目指すものです。本拠点を中心に地域がまとまり、活性化するとともに、地域外にもどんどん発信し、地域外の方も巻き込んでいけるようなモデルケースとして、他の地域にも発信していきたいと考えます。</p>

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- | | | |
|---------|-------------------------|-----------------------|
| ○「ヒト」の例 | ・地域のPTAから協力を受けられそう。 | ・地域に設計の専門家がいる。 |
| ○「モノ」の例 | ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 | ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。 |
| ○「カネ」の例 | ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 | ・バザーなどで資金を集められそう。 |

整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
横浜鶴見沖縄県人会	プランを説明し、了承を頂き、プロジェクトに参画いただくことになりました。

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

位置図



現況写真



鶴見沖縄県人会会館 正面



改修対象①「通路」



改修対象②「情報発信基地予定地」



改修対象③「体験基地予定地」



改修対象④「作戦基地予定地」



その他通路奥スペース

【体験基地】

- ・沖縄の古民家の中にいるかのような雰囲気、三線などの体験ができるように、装飾をします。
- ・舞台を作り、三線等を実際に指導するほか、壁にテレビ等を設置し、指導者が不在でも映像を見ながら体験ができるようにします。

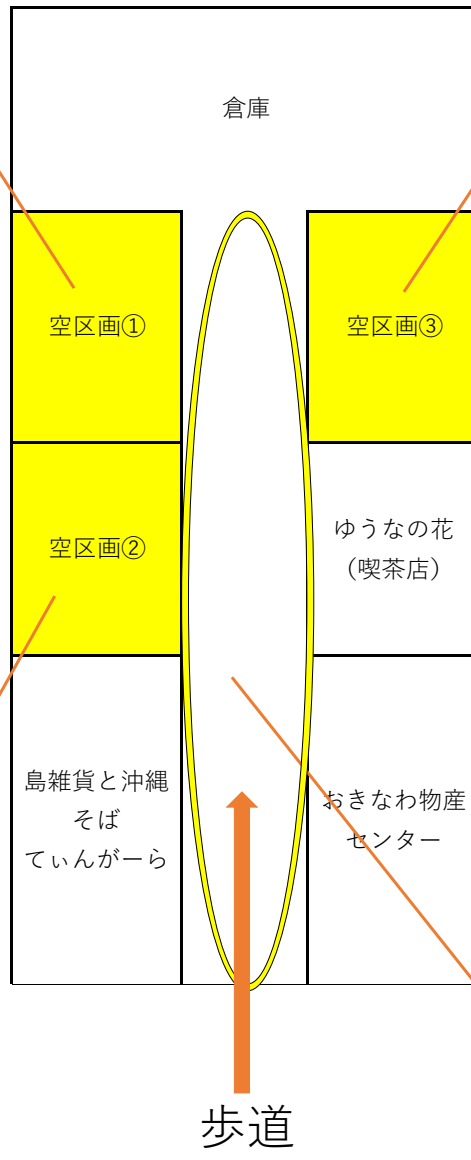


【作戦基地】

- ・沖縄の海の近くで青空会議をしているような雰囲気で話し合い（打合せ）等ができるように、海の写真等を壁に貼り、空間を作ります。
- ・話し合い（打合せ）ができるよう、机や椅子を複数ペア設置しますが、それぞれを囲いで仕切らず、オープンにすることで、色々な方が参画できるような雰囲気にします。



鶴見沖縄県人会会館 1階部分



【情報発信基地】

- ・沖縄の雰囲気を出すため、赤瓦や提灯などを装飾した屋台等を設置します。
- ・地域のPRをするため、映像を流せるTVと本や情報誌等を置く本棚等を設置します。
- ・机や椅子も設置し、人が本などを読んで安らげる場所を作ります。



【沖縄を感じられる通り道】

- ・それぞれの基地に行く際に、入口の時点から沖縄の雰囲気を感じられるよう、壁には沖縄の風景の写真等を、床は琉球石灰岩風の装飾を施します



仲通3丁目及びその周辺（鶴見沖繩タウン）における地域活性化の取組



鶴見ウチナー祭【横浜鶴見沖繩県人会関連】

- ・平成28年度から毎年開催をしている、沖縄・南米の食と文化を楽しむお祭り。
- ・飲食の提供とあわせ、沖縄ゆかりのアーティストや団体が沖縄の音楽を演奏する等、沖縄を満喫できるイベント。
【開催場所】入船公園 ※令和2年度はオンライン開催
【参加人数】令和元年度 約7万人来場
令和2年度 約1万8,000回視聴

だからよー鶴見【横浜鶴見沖繩県人会関連】

- ・2020年4月の沖縄国際映画祭に向けて製作した鶴見区の地域発信型映画。
- ・沖縄出身者が多く住む鶴見を舞台にそこに住む人や土地のすばらしさを人情喜劇として描き、日本中、世界に発信し、市民参加型の映画として記録し、残すことを目的に制作。
- ・2020.12月、2021.5月に区民向け上映会を実施（サルビアホール）。
- ・2021年4月に沖縄国際映画祭にて上映。



おきつる角力大会【横浜鶴見沖繩県人会関連】

- ・関東在住の県出身者や、横浜在住の南米県系移民の子孫のほか、久米島など沖縄からも参加する伝統の沖縄角力大会。
- ・今まで75回大会が開催された。
- ・全国で沖縄以外に大会をしているのは鶴見だけ。
- ・柔道着を着て、お互いに組んで帯をつかんだ状態から始めて、技をかけあうのが特徴。
【開催場所】入船小学校校庭

仲通り道じゅねー【横浜鶴見沖繩県人会関連】

- ・沖縄県外ではとても珍しい、先祖供養のためエイサーで街を練り歩く催し。
- ・街の人みんなで飲んで食べて一緒に踊り楽しむ。
【開催場所】仲通



仲通りマルシェ【地元商店街関連】

- ・仲通の商店街のお店の商品や、鶴見区の友好交流都市の物産などを販売するマルシェ。
- ・同時にハイビスカスも販売し、沖縄の雰囲気を感じられる。
【開催場所】仲通

もちつき大会【地元自治会関連】

- ・毎年12月に仲通り三丁目自治会館前にて開催。他に納涼祭等を行っている。

